



2016年12月21日発行

東日本復興支援ボランティア

2011年3月11日に発生した東日本大震災。震災の直後より、本学では復興支援ボランティアを開始し、多くの学生がボランティア活動に参加してきました。本年度も、被災地でボランティア活動を行う学生に対して、往復の交通費を上限15,000円まで助成する制度を設け、2016年4月から12月の間に、延べ200名もの学生が被災地へ足を運んでいます。12月2日(金)～4日(日)の2泊3日で、課外活動団体「Habitat for Humanity」の有志18名が、交通費補助の制度を利用し、宮城県南三陸町でボランティア活動に参加しました。南三陸町の子供達約30名と英語を交えて工作などを行うという初の企画を実施し、上智らしいイベントとなりました。彼らのボランティア活動の一部を紹介します。

活動スケジュール

ボランティア受入団体: 東北ファミリア 参加者: 18名 活動日数: 2泊3日(1泊車中泊)

1日目(12/2 Fri)

23:00 東京駅より、ボランティア受入団体「東北ファミリア」のバスで出発
12/3 南三陸町着
6:00 東北ファミリア事務所付近で休憩

2日目(12/3 Sat)

9:00 活動開始
体育館で小学生に英語を交えながら工作を行う
17:00 活動終了
活動後は銭湯、夕食へ
23:00 公民館で宿泊

3日目(12/4 Sun)

9:00 活動開始
除草作業の手伝い
12:00 バーベキュー
(宮城の魚介類をいただく)
15:00 バスで東京に戻る

活動風景



子どもたちと一緒にスノードームを作っています。和気あいあい楽しそうですね。



工作後、子どもたちと一緒にボール遊びをしました。すっかり打解けた様子です。



今回参加した学生18名の集合写真です。ボランティア後の清々しい素敵な笑顔ですね。

参加学生の感想

- 子どもたちの親御さんからお礼の言葉をいただいたときに、半日だけの小さな活動でも感謝していただけることを出来たのだと感じて嬉しかった。
- 初めての企画のため不安だったが、子どもたちやお母さんから“楽しかった”“また来てね”とメッセージを受け、改めてやりがいを感じた。
- ボランティア活動は自分自身学びながら、また楽しみながら出来た。

交通費補助の詳細

| | 東北復興支援 | 熊本復興支援 |
|-------|-----------------------|----------------------|
| 活動場所 | 岩手・宮城・福島県に限定 | 熊本県に限定 |
| 往復交通費 | 上限15,000円 | 上限25,000円 |
| 補助回数 | 年間6回 (2015年度と変更なし) | 200名程度 (1人年間4回まで) |

告知

Sophians to KUMAMOTO～熊本復興支援隊～

平成28年4月14日に発生した熊本地震。大きな被害をもたらしました。復興はまだまだ進んでおらず、ボランティア活動の受入れ整備も整っていない状況です。そこで、ボランティア・ビューロー主催により、現地を視察するツアーを企画しています。

- 【内容】(変更する可能性があります)
- 第1期: 2017年2月21日(火)～2月23日(木) ・被災地の視察(益城町周辺)
 - 第2期: 2017年2月28日(火)～3月2日(木) ・復興支援活動をされてる方の講話
 - 第3期: 2017年3月8日(水)～3月10日(金) ・仮説住宅訪問など
- 各期12名ずつのグループです。

※詳細や応募方法は、1月初旬にLoyolaにて掲示します。是非ご確認ください!

※詳細はボランティア・ビューローまでお問合せください!



ご応募お待ちしております!

上智大学学生センター
ボランティア・ビューロー(ボランチ)
場所: 2号館1階 学生センター⑧窓口
Mail: volunteer@cl.sophia.ac.jp
twitter: @SophiaVolante